



マルト便

MARUTO INFORMATION

お客様の笑顔のために ... チャレンジ!

maruto-shoji.co.jp

ホームページにバックナンバー掲載中



🌈 ごあいさつ

紫陽花が美しく色づき、全国的に梅雨入りの便りが聞かれる季節となりました。気温・湿度ともに上がりやすくなってまいります。いかがお過ごしでしょうか。野菜の生育にとっては恵みの雨となる一方で、日照不足や病害の発生など、天候リスクにも注意が必要な時期に入ります。今月号も「玉ねぎ」の動向を中心に、6月の野菜市況の見直しをお届けいたします。

6月号
June 2026

🍷 国産玉ねぎの状況と6月の見直し

昨年から長らく続いた玉ねぎの高値・品不足の状況から一転し、6月は国産（府県産）玉ねぎが潤沢に出回る月となります。農林水産省の6月見直しによると、主力は佐賀県産と兵庫県産となります。特に佐賀県産は、冬季の低温・乾燥や4月の降雨の影響で生育が遅れていたものの、現在では大玉傾向となり出荷量が多い見込みです。兵庫県産についても、生育・出荷量ともに平年並みで推移しています。

このため、6月の出荷数量は全体として平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見直しです。

いよいよ本格的に供給が回復し、需給は安定局面へと移行してまいります。

🌐 輸入玉ねぎの動き

国産玉ねぎの出荷量が回復し、相場が平年を下回る水準で推移する6月は、輸入玉ねぎの取り扱いにおいて大きな転換点となります。これまで国産の不足をカバーしてきたニュージーランド産、オーストラリア産、中国産などの輸入玉ねぎですが、国産相場の下落に伴い、価格的な優位性が徐々に縮小していく局面となります。

用途や規格によっては、国産原料の採用比率を高める動きも見られるものと思われます。

当社では、引き続きお客様の加工用途やコスト、品質のニーズに合わせ、国産・輸入を含めた最適な調達をご提案してまいります。

🚗 産地訪問

今月は府県産地の訪問に行ってきました。

5月第1週には群馬県、第3週には北海道、第4週には佐賀県の玉ねぎ圃場を訪問し、現在の状況確認と情報交換を行ってまいりましたのでご報告いたします。

【群馬県】 今年はやや小玉傾向で推移したことから、やや小玉傾向となっていました。品質は良好で、締まりが良く日持ちも期待できる仕上がりとなっていました。

収穫量も平年並みで、出荷期間は6月いっぱいを目処に予定しているとのことでした。

【北海道】 北海道では定植作業が終了し、一段落といった様子でした。

定植作業は例年に比べて各産地とも前倒しで進みました。お話を伺った中では、岩見沢地区で3月下旬から定植を開始した生産者様もいらっしゃいました。雪が少なかったこともあり、少しでも減収リスクを減らし、生育期間を長く確保したいという考えから、各産地とも早めの定植作業となったようです。定植作業は4月中旬に大半の産地で終了しており、その後も適度な降雨に恵まれています。現時点では生育は順調に推移している印象です。

昨年は6月中旬以降の高温・干ばつが大きく影響したこともあり、今後の天候を見守る必要はありますが、苗の生育、定植作業の進捗ともに順調であり、現段階では良いスタートが切れていると感じました。

【佐賀県】 佐賀県産玉ねぎについては、白石地区を視察してまいりました。

訪問時は収穫作業の最盛期を迎えており、生産者様からも「過去最高クラスの出来」との声が聞かれました。早生品種はいずれもサイズが大きく、また干ばつ傾向で推移したことから病気の発生も少なかったようです。県全体では作付面積の減少はあるものの、収穫量が非常に多くなったため、平年を上回る出荷が見込まれています。6月に入り品種は中晩生主体へ切り替わります。中晩生種は早生に比べるとサイズは落ち着きますが、非常に良いサイズ比率となっているように感じました。

現時点では、6月から8月にかけての府県産玉ねぎの供給は比較的安定して推移するものと見ています。

6月には弊社主力産地である富山県の圃場も視察予定です。

今後の状況につきましても、引き続き情報をお届けしてまいります。

〈裏面に続く〉

青果物市況（農水省・令和8年6月見通し）

農林水産省の6月見通しによると、全体として

👉「きゅうり、ピーマン等の価格は平年を上回って推移することが見込まれる一方で、ばれいしょ、たまねぎ等の価格は平年を下回って推移する見込み」となっています。適度な降雨と気温の上昇により、多くの品目で生育は概ね順調に推移しています。

■ 相場が弱含み（安値傾向）となる見込みの品目

- ・たまねぎ：佐賀県産の大玉傾向と潤沢な出荷により、価格は平年を下回る見込みです。
- ・ばれいしょ：長崎県・静岡県・千葉県産が中心。前進出荷傾向となり、価格は平年を下回る見込みです。
- ・にんじん：千葉県・茨城県産の生育が順調で、潤沢な出荷が続く見込みです。
- ・レタス：長野県・群馬県産の生育が前進しており、価格は平年を下回る見込みです。
- ・はくさい：後半にかけて長野県産が本格化し、価格は平年を下回る見込みです。

■ 相場が強含み（高値傾向）となる見込みの品目

- ・ピーマン：茨城県産で着果量低下が見られ、価格はやや平年を上回る見込みです。
- ・きゅうり：後半は梅雨の影響による出荷減が見込まれ、価格はやや平年を上回る見込みです。
- ・トマト：気温上昇による歩留まり低下が懸念され、後半はやや高値傾向となる見込みです。
- ・キャベツ：前半は小玉傾向の影響からやや高値となる見込みですが、後半は平年並みに落ち着く見込みです。

■ 平年並みで安定推移する見込みの品目

だいこん、ほうれんそう、ねぎ、ブロッコリー、なす、さといもは、概ね生育順調で平年並みの推移が見込まれます。

6月の総評

6月は、長らく高値基調を牽引してきた「玉ねぎ」「ばれいしょ」といった主力根菜類が揃って安値傾向となるのが最大のトピックです。一方で、果菜類（きゅうり、トマト、ピーマン）は天候の影響を受けやすく、相場が強含む品目が目立ちます。

「土物安・果菜高」の構図となる中、梅雨入りによる天候不順が今後の生育や収穫作業に与える影響を注視していく必要があります。当面は玉ねぎをはじめとする土物類の安定供給が見込まれる一方、果菜類については天候次第で相場変動の可能性もあるため、引き続き注視してまいります。

編集後記

梅雨の走りのような、ぐずついたお天気が増えてまいりました。

青果業界にとって天候は常に最大の懸念事項ですが、今年はようやく玉ねぎの供給が潤沢となり、明るい話題をお届けできることを嬉しく感じています。

昨年の北海道での記録的な猛暑と干ばつから続いた「品不足・高値」の厳しいトンネルを抜け出せたのも、ひとえに産地様のご尽力と、お客様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

これからの時期は、梅雨による日照不足や大雨、そして本格的な夏に向けた猛暑対策など、産地では気の抜けない日々が続きます。引き続きマルト商事では、いかなる天候条件のもとでも皆様に安定したご提案ができるよう、産地との連携を密にまいります。今月もどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社マルト商事 代表取締役 戸澤 周一
ホームページ：www.maruto-shoji.co.jp

6月の玉ねぎを使ったおすすめ料理 新玉ねぎのレンチン蒸し

今回は我が家でよく作り置きする簡単タレを使用しましたが味ぼん × バターやキムチ × マヨネーズなどいろいろアレンジが楽しめるレシピです。是非作ってみて下さいね。

<材料 1人分>

- ・新玉ねぎ 大1個
- ・バター 10g
- ・酒 小1
- ・薬味ネギ 適量

(タレ)
みょうが、生パセリをみじん切りにし醤油に漬けたもの

<作り方>

- 1) 玉ねぎの両端を切り落とし皮を剥いて8当分に切れ目を入れる。
- 2) 酒を回しかけ軽くラップをし電子レンジで、600Wで6分程温める。
- 3) バターを乗せてタレを適量回しかけ、薬味ネギをトッピングする。

♪ポイント

新玉ねぎ自体水分が豊富で甘いのですが酒を振りかけてレンチンする事でシャキッと感と甘みが増しより美味しくいただけます。



料理研究家 長尾涼子

「家族がよろこぶごちそう」をコンセプトにレシピ開発。子育て経験を活かした、誰もが作りやすく栄養バランスのよいレシピを得意とする。